

果実が大きく着色の良いイチゴ新系統

「96-36」と「96-38」の育成

園芸研究所

1 背景、目的

イチゴの主要品種「とよのか」は味や香りが良いことから高く評価されています。しかし、「とよのか」は葉が横に広がり果実を覆うため、果実の着色が良くなるよう、果実が葉の陰に隠れないようにするための管理作業が必要です。そこで、このような管理作業に手間がかからず、葉が立葉で着色が良く、果実が大きくて味のよいイチゴ新系統を育成しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) 新系統「96-36」および「96-38」は、「久留米53号」（野菜茶試・久留米支場育成系統）を母に、「92-46」（本県育成系統）を父として交配した実生から育成しました。
- 2) 「96-36」は、「とよのか」に比べて果実が大きく、果実の形は短円錐形です。葉は立葉で果実の着色が良く濃い赤色になります。果汁の糖度、酸度および果実の硬さは「とよのか」と同等です。
- 3) 「96-38」は、「とよのか」に比べて果実が大きく、果実の形は円錐形です。葉は立葉で果実の着色が良く濃い赤色になります。果汁の糖度、酸度は「とよのか」に比べてやや低い糖酸比は同等です。果実の硬さは「とよのか」に比べて果皮は硬く果肉は同等です。

3 主要なデータなど

表 1 育成系統の果実特性

項 目	9 6 - 3 6	9 6 - 3 8	とよのか
果皮色 (色票番号)	濃赤 (0408)	濃赤 (0408)	鮮赤 (0407)
果 形	短円錐	円錐	円錐
果汁品質 糖度 (%)	10.4	8.9	9.9
酸度 (mg%)	750	640	718
糖酸比	13.9	13.9	13.8
果実硬度 果皮 (g)	61	63	45
果肉 (g)	20	17	20
平均果重 (g)	16.0	21.8	12.8

注) 果皮色：日本園芸植物標準色票による分類

糖度、酸度：糖度はBrix指数、酸度は果汁100ml当たりクエン酸含量

硬度：ダイナグラフ測定値、プランジャー直径2mm、ロードスピード10cm/秒

果汁品質、果実硬度：平成12年3月13日測定

平均果重：平成10年度



写真 1 「96 - 36」

写真 2 「96 - 38」